

『**盈たして 進むⅡ**』**楽しく学んだ修学旅行！**

11月8日から10日までの3日間、5・6年生が修学旅行に行きました。盈進小学校は、1学年の児童数が少ないので、2年ごとに2学年合同での実施となります。修学旅行の目的は、日常の生活圏から離れた土地の自然や文化を見学、探究すること、そして、集団生活やグループでの自主学習を経験し、人間性の助長を図ることです。また、これまでの生活指導、安全指導、公衆道徳などの確認もあります。

1日目、最初の見学地は、『県美術館』でした。企画展として、「永見徳太郎展覧会」が開催されていました。小学生には少し難しい説明だったのですが、子ども達は集中して話に聞き入っていました。美術品の数々に珍しさもあったのでしょう。

次は、『歴史文化博物館』です。「長崎奉行所ゾーン」を見学しました。当時の奉行所が再現された館内を見学しながら、昔の人々の様子やキリスト教の取り締まりについて説明を受けました。その後、子ども達は「お白州」へ行き、お互いに裁判ごっこをして遊んでいました。当時の人たちはそんな余裕などなかったでしょうが…。



最後は、『原爆資料館』です。子ども達は2学期の最初に平和集会を行っていましたが、今回の見学で、さらに平和の尊さを確かめました。「もう少し見学したかった」という感想が多かったようです。そして、『平和公園』に行き、世界の平和を願いながら盈進小学校全児童で折った鶴を捧げ、1日目を終えました。



2日目、どちらかと言えば、楽しさ重視です。『ハウステンボス』では、外国の雰囲気を楽しみながら、数多くのアトラクションに歓喜の声を上げました。子ども達は、グループごとにパンフレットを見ながら、事前に回る施設を決めていました。開場と同時に入国したので、並ぶことも少なく、活動できたようです。

3日間で、子ども達が一番はしゃいでいたのが、『バイオパーク』です。基本的にグループ行動なのですが、行ったり来たりしている間にはぐれたり、また出会ったり…。中には、苦手な動物から逃げ回る子どもも…。特に人気だったのは、リスザルコーナー。エサがほしくて、子ども達の頭やリュックの上に飛び乗ってきます。「キャー！」と叫びながらもその場を立ち去ろうとしないのですから、よっぽど楽しかったのでしょうね。可愛らしさがよかったのか、スリルがよかったのか。

3日目は、予報通り雨でしたが、傘を差しながらでも上手に集団行動ができました。路面電車に乗る経験をした後、『長崎市科学館』に行きました。宇宙船アドベンチャー号や地震体験など、未来や暮らしを考える科学を楽しみました。

その後、各グループで事前に考えておいた施設（原爆関連施設や出島など）を回る、『長崎市内見学』だったのですが、雨脚が強くなったことで、予定を変更しながら行動したグループもあったようです。

3日間を通して、子ども達は思いやりを持って協力し合うとともに、集合時間を考えながら行動するなど、有意義に過ごすことができました。子ども達は、事前学習から帰校までで学んだことをこれからの生活に活かしてほしいと思います。



行き先については、福岡方面や佐賀方面などを検討しました。あまり行くことがない県外の魅力を味わわせたいからです。しかし、遠くへ行けばその分移動時間が長くなり、多くの施設を回れないというデメリットもあります。よって、今年度は足もとである長崎県を深く知ることを選択しました。

は、文化施設の見学が中心でした。長崎へ到着した後、水辺の森公園で昼食を取りました。しばらく休憩時間があったのですが、6年生の男の子達が遊びに来ていた市内の幼稚園児と鬼ごっこを始めたのです。たぶん、誘われたのだらうと思いますが、

永見徳太郎とは、長崎が生んだ明治から昭和にかけての稀代の文化人だそうです。